

令和7年度 和歌山市立砂山小学校 学校運営計画書（スクールプラン）

校長名 小杉 栄樹 作成日 令和7年5月1日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着・向上させてほしい
- 子供が楽しいと言える学校にしてほしい
- 優しい心をもった子供に育ててほしい
- 心身ともに健康な子供に育ててほしい
- 挨拶のできる子供に育ててほしい
- 地域に誇りをもってほしい
- 保護者・地域との連携協力の充実
- 健康安全を最優先にした学校運営

【学校教育目標】

豊かな感性と知性を身につけ、
たくましく生きる子供を育てる

【めざす児童像】

(す) てきな言葉がいっぱい
(な) かよしの輪いっぱい
(や) る気いっぱい
(ま) ごろりいっぱい

前年度の学校評価

- 様々な教育活動において、学校・育友会・地域が協力しながら無事に開催することができた。
- わかりやすい授業の工夫等、授業改善は進んでいる。
- 読書活動の推進充実に積極的に取り組んでいる。
- 誰にでも挨拶ができる子に育ってほしい。
- 家庭・地域との連携を一層充実させていきたい。
- Withコロナ社会における安心安全な学校生活の確立

重点目標

確かな学力の向上

- 基礎・基本の確かな定着
- 子供主体の授業推進
- 読書活動の推進
- 家庭学習の定着
- ICT教育の推進
- 砂山タイムの充実

具体的な取組

- 子供主体の授業づくりにおいて、「かく力」「関わり合う力」「活用する力」の3つの力を育成する。
- 算数科教育充実のための研修実施
- 放課後等のフォローアップを実施し、低学力の課題に取り組む。
- 「読書の木～読書100冊にチャレンジ～」や「あんしょう名人」「砂山5・7・5」の取組や学習ボランティアの協力による国語力の向上及び読書活動の推進。
- 作文教育の充実
- GIGAスクールパソコンの積極的活用

指標

- 子供がわかる授業、子供の自主性自発性を大切にした授業を実践する。(90%)
- 全国学調・県学習到達度調査で正答数が平均を上回る。
- 読書が好きな子(90%)

豊かな心の育成

- 道徳・人権教育の充実
- いじめの未然防止、早期発見
- 国際理解教育、ネットモラル教育、SDGs教育の充実
- 挨拶のできる子供の育成
- 清掃活動に励む子供の育成

健やかな体の育成

- 基礎的生活習慣の確立
- 体力向上の推進
- 防災学習の充実
- 保健指導の充実（体の成長・姿勢・歯磨き・アレルギー等）
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- 未来の100年を見据え、家庭・地域との連携を強化する。
- 保幼小中高の接続、校区における学校間連携の推進
- 地域と協働した教育活動
- 学校からの積極的な情報発信

◎特に重点的に取り組むこと

○「時を守り」「場を清め」「礼を正す」を大切にした教育を実施する。

- 協力・努力・忍耐力・判断力・体力の大切さを認識し「今自分にできること」をしっかりとと考えて行動できる子を育てる。
- 人材・資料を有効に活用しながら、道徳や人権教育の充実に取り組む。
- SDGs教育を積極的に推進する。
- 「いじめアンケート」を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性を保護者と共に学ぶ機会をもつ。

○「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨し、家庭と連携して取り組む。

- たてわり活動や集会、休憩時間等を活用した体力づくりを全校で実施する。
- 育友会、地域と協力し、ジョギング大会の実施等、運動する機会を増やす。
- 保健指導を通して、自分の健康への意識を高める。

○避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。

- 南海トラフ大地震に備えた防災教育を充実していく。

○「早寝・早起き・朝ごはん」に家庭で取り組むとともに、全校で体力づくりを行う。(100%)

- 避難訓練を年3回計画・実施する。(100%)

○テレビやゲームの時間を短縮できるように保護者と連携して取り組む。(90%)

○学校の情報を発信し、子供たちの活動の様子等を、保護者や地域に伝えられるようにする。(90%)

- 校区で接続・連携の充実に向け実践する。(90%)

○OHPを積極的に活用する。(90%)